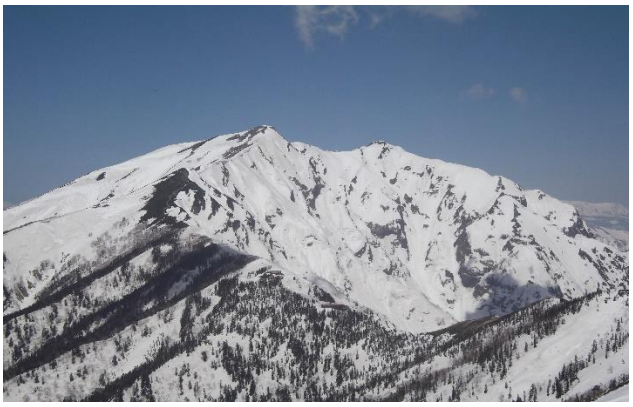
【個 人】　　提　出　　令和元年５月７日

山　行　報　告　書

山行報告提出者　：　鈴　木

山　域・山　名：　鹿島槍ヶ岳（2,889m）　　長野県大町市	
入山日：平成 31 年５月３日～４日　(金～土)　１ 泊２日	
プラン担当者　正：　鈴 木　　副：	堂々たる双耳峰 
参加者　L 報記：　鈴 木　（単独行） 男　１名 、　女　　名、　計１ 名	
天　候　５月３日：快晴　午前中強風 ５月４日：快晴　無風	
５月２日（木）	23：15 新宿駅発夜行バスで扇沢へ　（5：15 着）
５月３日（金）	扇沢爺が岳登山口発６：00―南尾根分岐７：30―爺が岳南峰 10：30―冷乗越 12：00―冷池山荘 13：00　テント泊　　（行動：7h00）
５月４日（土）	4：00 起床５：15 発―布引山６：45―鹿島槍南峰７：45―布引山８：30―９：15 冷池テント撤収 10：15―爺が岳南峰 12：15―南尾根分岐 13：45―登山口下山 15：15　　扇沢-ＪＲ長野駅経由帰宅　　（行動：9h00）
荒天候時のエスケープルート： 山行中止し引き返す、冷池山荘泊に変える。	
装備と食糧	**共同装備：共 同 食：車提供者：**　　すべてなし
	個人装備：テント一式、ストーブ（寒冷用ガス含）、クッカー、ヘッドランプ、防寒衣、コンパス、地図、替衣類、シュラフ、エア（銀）マット、水、浄水器、帽子（目出帽）、グローブ、スパッツ、ストック、ピッケル、アイゼン、スコップ、スノーソー、携帯トイレ、 **個 人 食：**食事×４プラス予備食、行動食
感　想	歩きやすい柏原新道はこの時期途中から通行できず、南尾根を通り爺ヶ岳南稜を目指す。（種池山荘には行けない）　やぶ漕ぎとは言えないが木の根や雪渓と裸地面が交互に現れる未整備道は甚だ歩きにくい。経由地の爺ヶ岳は南・中央・北と三峰あるが南峰のみ頂上を通過し他はトラバース。とはいえアップダウンがそこそこあり容赦なくテント装備の重ザックと相まって体力が消耗されていく、冷池のテン場は夏場と違い小屋のすぐそばであったことはテン泊料を千円もとられたことと相殺か。 ５月４日は前日に続き快晴無風、疲れている体とは裏腹には否が応でも鹿島槍に引き寄せられていく。このルートの良さは抜群の眺望を楽しみながら歩けることと思うが、今回は過去最高の見晴らしではないかと思わせるほどで、真っ白なドレスを纏った名峰が北は白馬、西は劔、南は槍穂と手に取るように拝めた。下山ではトレースを外さないよう注意はしていたものの最後のほうで夏道に出てしまい、南尾根までの数 100m 雪のトラバースを余儀なくされた。